



令和7年4月
健康診断特別号
洗切小 保健室

1年生 心電図検査について（4/28午前中）

心電図検査では、心臓の音や動き、心臓の病気や異常がないか調べます。

～心電図検査の受け方～

- ①上半身はなるべく薄着で（タオルを使用します）、ベッドに横になる。
- ②手首・足首・胸に器械をつけてもらう。
- ③力をぬいて、うごかない。ねたふりをする。3分程度で終わります。

心電図検査は、痛くないし、ぴりぴりもしません。安心して受けてください。

カーテンやついたてなどを使用し、プライバシーに配慮します。

内科検診について（4/30、5/7、5/14の午後）

全学年実施します。2学年ずつ分けて行います。

～内科検診の受け方～

- ①まっすぐ立って、気を付けをする。（顔、目、耳、首を見てもらう）
- ②口を開けて、舌圧子を使って、のどを見てもらう。
- ③体操服の中で、聴診器を当てて胸の音を聴いてもらう。
- ④後ろを向いて、背中から心臓の音を聴いてもらう。
- ⑤後ろを向いたまま、気を付けをしておじぎをする。（背骨を見てもらう）

・洗切小担当の学校医の先生は、「おひさまこどもクリニック」（高田郷）の尹（ゆん）先生です。

・クリニックの看護師さん、養護教諭も立ち会います。

・検診時は、ついたてを使い個別スペースを作り、周囲から見えることのないよう、プライバシーに配慮します。

・体操服で検診を受けますが、下着は着たままでよいです。

心臓や呼吸器の病気、脊柱側弯、骨や関節・皮膚の病気、貧血、身長や体重のバランス、思春期早発症の疑いなどを
見ます。受診が必要だと思われる人には、用紙を発行します。

思春期早発症とは？ ※日本小児内分泌学会 HP より

思春期は、こどもが成長して大人になっていく過程で、心身ともに変化する時期のことです。通常、女子は10歳ごろ、男子は12歳ごろより思春期の変化が出てきます。思春期早発症では、それらが2～3年以上早く出現してきます。

思春期早発症で問題になりえることは、

- ①低年齢で急速に体が完成してしまうために、一時的に身長が伸びた後、小柄のままで身長がとまってしまうことがある。
- ②幼い年齢で毛が生える、月経が発来するなどの症状が出現するために、本人や周囲が戸惑う心理社会的問題が起きることがある。
- ③まれではあるが、脳などに思春期を進めてしまう原因になる病変が見つかることがある。